

9. 在宅復帰率

(解説) 治療が一段落し、自宅などへ退院することが多い場合には、率が上昇します。

当院の様に急性期医療を主に担っている病院の場合には、リハビリ等を専門の病院に転院して、より身体機能を安定させてから退院する場合があります。このような場合には率が低くなります。

より高い値を目指しています。

(※)「在宅」とは、退院先が、外来（自院、他院）、家庭への退院、介護老人福祉施設、社会福祉施設・有料老人ホーム を含みます。

(分子) 退院先が自宅等の患者数

(分母) 生存退院患者数

	当院	全国		
		施設数	中央値	平均値
2021年度	87.0%	(174)	89.4%	88.2%
2022年度	87.2%	(163)	89.2%	88.1%
2023年度	86.0%	(163)	89.5%	88.5%
4~6月	85.8%	(164)	89.6%	88.2%
7~9月	85.9%	(160)	90.2%	89.1%
10~12月	86.4%	(164)	89.6%	88.6%
1~6月	85.8%	(155)	89.2%	88.2%

